労災レセ電対応に関するパッチ提供分

1. 労災・自賠責レセプトの再診時療養指導管理料のコメント記載修正（外来）
（平成 25 年 7 月診療分以降）＜ver4.6 以降＞

. 130

101130190 再診時療養指導管理料
810000001 コメント1
810000001 コメント2
810000001 コメント3
810000001 コメント4
810000001 コメント5

コメントが5行以上になる場合、再診時療養指導管理料と5行目以降のコメントが別々に記載されていた（同一剤として記載されていなかった）ので修正しました。

2. 労災の症状詳記の会計カード対応
＜ver4.6 以降＞

(1) [(C50)コメント入力] 画面より症状詳記区分“AA”（労災レセプト「傷病の経過」）で入力したコメントを会計カードに記載するようにしました。

症状詳記は以下の区分順で記載します。

“AA”, “99”, “01”, “02”, “03”, “04”, “05”, “06”, “07”, “08”, “09”, “50”, “51”, “52”

(2) 入力したコメントの先頭に症状詳記の表題を記載するようにしました。

“AA”の表題は、【労災レセプト「傷病の経過」】とします。

その他は医保と同様です。

通常“99”の表題は記載しませんが、“AA”と“99”のコメントが両方ある場合に限り、“99”の表題についても記載します。

（“99”の表題は、【レセプト摘要欄コメント】とします）

(3) アフターケアについて、各診療日毎のコメントの先頭に診療日を記載するようにしました。

3. 09593で始まるコードのチェック（労災（短期・傷病））
（平成25年7月診療分以降）＜ver4.7以降＞

09593で始まるコードの診療行為入力を行った場合（診療区分「80」）、該当コードはレセ電において、労災医科診療行為レコード（レコード識別「RI」）に記録を行う事が出来ないため、該当患者のレセ電データは作成しないよう対応しました。

（該当患者は紙レセプトで請求を行う必要があります）

又、データチェックで、下記内容のチェックを行い、該当患者を確認可能としました。

＜データチェック対応内容＞

システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」のレセ電出力区分の労災の設定に応じて、09593で始まるコードの診療行為入力（診療区分「80」）が入力されているかチェックを行います。短期給付と傷病年金を対象とします。
データチェックのいずれの確認項目にも属さないチェック項目（必須チェック項目）とします。

レセ電出力区分の設定と動作

- 「1 入院外のみ」の場合・・・外来のデータチェック時にチェック
- 「2 入院のみ」の場合・・・入院のデータチェック時にチェック
- 「3 入院・入院外」の場合・・・入院および外来のデータチェック時にチェック

データチェックのエラーメッセージ

09593で始まるコードの診療行為入力があるため、紙レセプトで請求を行ってください。
【09593XXXX 名称 ○○日】